キャラクター名
九鳩　丈瑠

プレイヤー名

シンドローム	バロール ブラム＝ストーカー	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	18	性別	男
覚醒	死	衝動	加虐	初期侵食率	33 %
出自	結社の一員	経験	裏切った	邂逅	師匠

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1	1	2			4
感覚	3	0	0			3
精神	3	0	0			3
社会	1	0	0			1

HP	31
行動値	9
(非装備時)	9
戦闘移動	14
全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志	2		調達	2	
運転：大型二輪 普通車(MT)	1		芸術：			知識：			情報：UGN	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
防弾防刃ジャケット	10	3		ー	上着の下に着込むタイプの特殊ベスト、軽量で効果の高い優秀な防具

合計装甲：	3	合計回避：	0

所持品

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
裏切った/父	P　憧憬	N　憎悪		
師匠/玉野　椿	P　信頼	N　嫌気		
結社の一員/アルフレッド・J・コードウェル	P　執着	N　憤懣		
PC1/青葉　モカ	P　庇護	N　隔意		
PC3/ミア	P　好意	N　不安		
矢神　秀人	P　同情	N　憎悪		
時使い（クロノトリガー）	P	N		

最大財産P:　6	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
時の棺	1	10	オート	視界	単体	自動	100↑	
効果：相手の判定を自動失敗、1シナリオ1回								
孤独の魔眼	2	4	オート	視界	効果参照	自動	ー	
効果：相手の攻撃を自身に集中、1シナリオLv回								
灰色の庭	1	2	セットアップ	視界	単体	自動	ー	
効果：対象の行動値ー（Lv×3）								
赤河の支配者	2	2	オート	至近	自身	自動	ー	
効果：自身へのダメージー（1D+Lv×2）								
吸着	1	ー	常時	至近	自身	自動	ー	
効果：重力操作、戦闘時無効　緑p90								
帝王の時間	1	ー	メジャー	至近	自身	自動	ー	
効果：周囲の時間の流れを遅延させる、戦闘時無効　緑p90								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

九鳩 丈瑠（Kubato Takeru）
9月7日誕、おとめ座、B型
誕生花：クロユリ（復讐）
誕生石：①オニキス（魔除け、成功、幸福）
　　②オレンジサファイア（陽の光、前向き、ひらめき、新たな出会い）
・ふわふわした猫っ毛に猫目。瞳孔は細く、眉は短め。ひょろ長い体系で手足が長く、重心が左右どちらかに偏った立ち方をする。
・UGN施設育ちのUGNチルドレン。
・一人称は「おにーさん」。
・明るくさっぱりとした性格。飄々としていてどこか掴みにくい（胡散臭い）。
・コミュニケーション能力が高く誰とでもフレンドリーに接することができるが、特定の誰かと親密になることはない。
・モカの在籍する高校に転入生として配属され、矢神秀人の動向を探るよう命じられた。
・身体能力が高く、様々な部活の助っ人として早々に学校へ溶け込んでいる。
・常に飄々とした笑みを浮かべているが、FHや敵対した相手にはとことん冷酷で口が悪い。
・父がFHの結社の一員（春日恭二と同じ組織）。丈瑠が10歳の時にジャーム化した父が丈瑠の目の前で母を殺害。その後丈瑠も殺害し、その死をきっかけにオーヴァードに覚醒。加虐の衝動と母を殺害した父への憎悪から能力が暴走し、勢いで父を殺してしまう。
・その後はUGNに保護され、UGNの施設で育つ。能力の扱い方は椿に習った。椿のことは師匠兼姉のように慕っている。
・母を殺した父、及びジャームやFHを強く憎むようになり、春日恭二やFHの親玉であるコードウェルも含め全てのジャーム・FHを駆逐しようと考えている過激派。しかしUGNチルドレンとしての経験上、ジャーム化した仲間を見てきたため、丈瑠の中に「全てのジャームを駆逐することは正しいことなのか」という葛藤が生まれつつある。
・誰とも親密にならないのは、これ以上大切な人を失いたくないという臆病な思いから。
・青葉モカに対しては、突然日常から非日常へ引き込まれてしまったことに同情しており、同じ支部のメンバーとして何かと世話を焼いている。
・動物全般が好きなため、ミアのことは支部長だが飼い主のように猫可愛がりしている。